## 一般国道431号 東林木バイパス改築(改良)工事



## 山陰自動車道を補売し、宍道湖・中海都市圏の連携を強化する道路として整備します

事業目的

地域高規格道路「境港出雲道路」は、宍道湖・中海北岸の市町村を結び、山陰自動車道とともに宍道湖・中海圏域の高規格な8の字ルートを形成し、豊かで活力ある「宍道湖・中海都市圏」の形成を図る延長約70㎞の道路です。

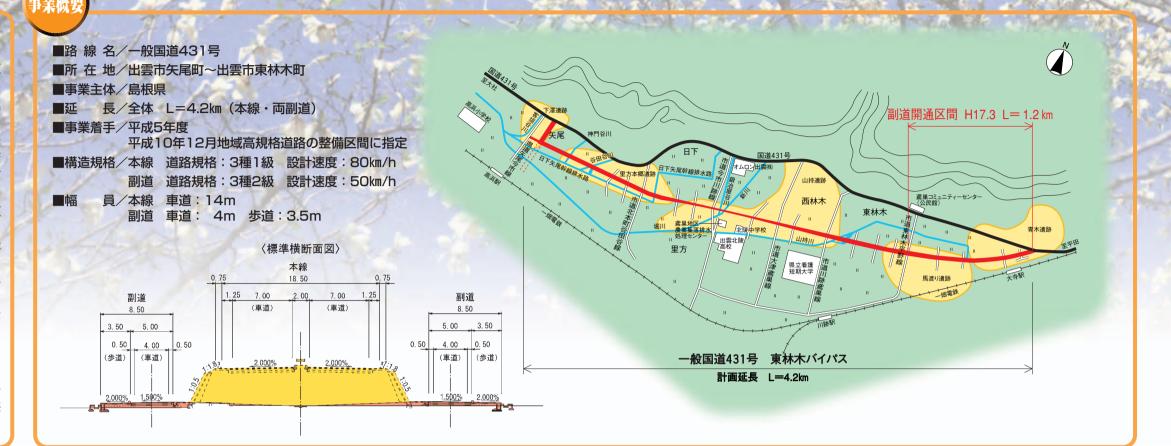
一般国道431号東林木バイパスは、境港出雲道路の一部を構成するとともに、現道の線形不良及び交通混雑の解消を目的とし、出雲市矢尾町から出雲市東林木町に至る延長4.2kmの4車線計画で、平成10年12月地域高規格道路の整備区間に組み込まれた道路です。

東林木バイパス区間はすでに一般国道431号東林 木バイパス道路改築事業として平成5年度から事業に 着手し、平成10年度より終点側の出雲市東林木町か ら用地を買収し、工事を行っています。

また事業区間には、ほぼ全線にわたり5つの遺跡が 分布しているため、島根県教育庁埋蔵文化財調査セ ンターにより、継続して埋蔵文化財調査を実施して います。

平成17年3月13日に出雲市道東林木平野線から終 点側の出雲市東林木町までの間1.2kmの両側副道の供 用を開始しました。

〈高速自動車道・地域高規格道路網図〉



事業効果

### 将来は「境港出雲道路」として出雲地域から松江市、さらには境港市を連絡します。

#### 境港出雲道路が開通すると

高速交通拠点へのアクセスが強化されます。 地域間の連携が強化されます。 市街地の交通渋滞が緩和されます。



# 《凡例》 高速道路(供用中) 高速自動車道(事業中区間/整備計画を含む) 高速自動車道(基本計画区間) 高規格等線道路(予定路線区間) 地域高規格道路(整備区間) 地域高規格道路(調査区間) 地域高規格道路(調査区間) 地域高規格道路(計画路線)

#### 青木遺跡の発掘から

弥生時代



#### 四隅突出型墳丘墓

山陰地方独特の有力者の墓です。最古型式のものも含め、4基がみつかりました。



#### 銅鐸の破片

飾り耳という縁飾りの破片です。人骨の頭部近くから 出土しました。



#### 神像

全国でも最古級の神の像です。



#### 木簡

古代の役所などで使われた、木の札です。100点近く出土しました。青木遺跡は祭祀の場であり、同時に役所としての役割もあったようです。



**絵馬** 

良・平安時代

現代と同じく、板に墨で馬が描 かれています。



#### 墨書土器

文字が書かれた土器。中 四国最多の800点も出土 しました。